

令和3年度

事業報告書  
決算報告書

公益財団法人広島市農林水産振興センター

## 目次

### 第1 事業報告書

1 設立目的及び概況	1
2 役員等の状況	1
3 理事会等の開催	2
4 定款の変更	3
5 職員の状況	3
6 事業の実施状況	
(1) 農業の振興（公益目的事業1）	
ア 調査及び試験研究	4
イ 担い手の育成・支援	5
ウ 農業への理解の促進	8
(2) 林業の振興（公益目的事業2）	
ア 森林の保全・整備	12
イ 担い手の育成・支援	13
ウ 林業への理解の促進	13
(3) 水産業の振興（公益目的事業3）	
ア 調査及び試験研究	14
イ 担い手の育成・支援	17
ウ 水産業への理解の促進	19
(4) 収益事業	
自動販売機設置事業	20
7 無償使用貸借資産	20
8 附属明細書	20

### 第2 決算報告書

(1) 貸借対照表	21
(2) 貸借対照表内訳表	22
(3) 正味財産増減計算書	23
(4) 正味財産増減計算書内訳表	24
(5) 財務諸表に対する注記	25
(6) 附属明細書	27
(7) 財産目録	28

## 第 1 事業報告書

### 令和 3 年度 公益財団法人広島市農林水産振興センター事業報告書 (令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 3 1 日まで)

#### 1 設立目的及び概況

##### (1) 設立目的

広島市における農林水産業等の振興を図るとともに、農山漁村地域の持つ公益的機能を活用した事業を推進し、もって活力ある農山漁村地域の確立と健康で豊かな市民生活の向上に寄与することを目的とする。

##### (2) 概況

###### ア 設立年月日

平成 4 年 4 月 1 日 財団法人広島市農業振興センターとして設立  
平成 10 年 4 月 1 日 財団法人広島市林業振興公社と統合  
平成 17 年 4 月 1 日 財団法人広島市水産振興協会と統合  
平成 24 年 4 月 1 日 公益財団法人へ移行

###### イ 基本財産

設立当初、基本財産は 5,000 万円（全額広島市出資）であったが、平成 10 年 4 月 1 日の財団法人広島市林業振興公社との統合に伴い、同財団から 3,000 万円を寄附受領した。

また、平成 17 年 4 月 1 日の財団法人広島市水産振興協会との統合に伴い、広島市から 1,000 万円の追加出資があったことにより、現在の基本財産は 9,000 万円（うち広島市出資 6,000 万円）である。

###### ウ 実施事業

- (ア) 農林水産業の振興に関する指導及び普及啓発
- (イ) 農林水産業に関する調査及び試験研究
- (ウ) 水源涵養、緑地保全等公益的機能の活用に関する指導及び普及啓発
- (エ) 農山漁村地域の担い手の育成及び指導
- (オ) 農地利用集積円滑化に関する事業
- (カ) 水産資源の維持増殖に必要な重要魚介類等の種苗生産
- (キ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

#### 2 役員等の状況

##### (1) 役員等の数

理事長 1 人  
常務理事 1 人  
理事 8 人  
監事 2 人  
評議員 7 人

##### (2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
令和 3 年 4 月 1 日	理事長	山地正宏	就任

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動内容
令和 3年 6月 3日	理事	高 畠 辰 也	辞任
令和 3年 6月 4日	理事	清 水 守	就任
令和 4年 3月31日	常務理事	宮 迫 純 一	辞任

イ 令和4年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役 職	氏 名	就任年月日
理事長	山 地 正 宏	令和 3年 4月 1日
常務理事	宮 迫 純 一	令和 2年 4月 1日
理事	佐 藤 和 夫	令和 2年 6月18日
理事	島 本 啓 司	平成24年 4月 1日
理事	清 水 守	令和 3年 6月 4日
理事	鈴 木 修 治	平成24年 4月 1日
理事	二 澤 潔	令和 2年 6月18日
理事	向井田 輝 紀	平成24年 4月 1日
理事	矢 野 泉	令和 2年 6月18日
理事	米 田 輝 隆	令和 2年 6月18日
監事	井手下 文 子	平成24年 4月 1日
監事	久 光 章	平成30年 4月 1日

### (3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動はなし。

イ 令和4年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

役 職	氏 名	就任年月日
評議員	浅 枝 俊 治	平成24年 4月 1日
評議員	鍛治山 好 恵	令和 2年 6月18日
評議員	倉 本 守	令和 2年 6月18日
評議員	中 川 和 義	平成24年 4月 1日
評議員	波 田 輝 明	平成28年 6月 3日
評議員	三 浦 隆 志	令和 2年 6月18日
評議員	山 中 幸 男	令和 2年 6月18日

## 3 理事会等の開催

### (1) 理事会

開催年月日	開催回数	付議事項	審議結果
令和3年 4月 1日 (決議の省略)	令和3年第2回	1 理事長（代表理事）の選定について	選定

令和3年 5月20日 (決議の省略)	令和3年第3回	1 令和2年度公益財団法人広島市 農林水産振興センター事業報告及 び決算について 2 定時評議員会の招集について 3 令和2年度における職員の職務 に係る倫理の保持に関する状況等 について「報告」 4 令和3年度における職務の執行 状況について「報告」 ※定款第29条第4項の規定による報 告の代替措置として、書面により 報告	承認  原案可決 終了  終了
令和4年 3月25日	令和4年第1回	1 令和4年度公益財団法人広島市 農林水産振興センター事業計画及 び収支予算について 2 常勤役員の報酬等について 3 令和3年度における職務の執行 状況について「報告」	承認  承認 終了

## (2) 評議員会

開催年月日	開催回数	付議事項	審議結果
令和3年 4月 1日 (決議の省略)	令和3年第1回	1 理事の選任について	選任
令和3年 6月 4日 (決議の省略)	令和3年第2回	1 令和2年度公益財団法人広島市 農林水産振興センター事業報告に ついて「報告」 2 令和2年度公益財団法人広島市 農林水産振興センター決算につい て 3 理事の選任について	終了  承認  選任

## 4 定款の変更

事業年度中の定款の変更はない。

## 5 職員の状況

令和4年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。(単位：人)

区分	事務職員					小計	技術職員					小計	業務員	非常勤職員	合計
	部長級	課長級	補佐級	係長級	主事		部長級	課長級	補佐級	係長級	技師				
事務局			1	1	2	4	1					1			5
農林部	農業担い手育成課						1	2	1	4	5	13		2	15
	農林振興課		1			5	6		1	3	5	9		5	20
水産部	普及指導課				1	1	1			2	1	4		2	7
	栽培漁業課								1		1	3	3	2	8
合計		1	1	1	8	11	3	4	1	10	12	30	3	11	55

## 6 事業の実施状況

次の事業を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催日の延期や規模の縮小、内容の変更等ができないものについては中止するとともに、施設の臨時休館等の措置を行った。

### (1) 農業の振興（公益目的事業1） <決算額：105,677,907円>

#### ア 調査及び試験研究 <決算額：35,086千円>

##### 栽培技術等に関する調査及び試験研究

農業経営における収益性の向上と農業生産の維持・増大を図るため、市内農家の経営改善に係る栽培技術等に関する調査及び試験研究を実施した。

#### (ア) 先進事例等の調査

栽培技術等に関する県内外の先進事例等を調査し、技術の蓄積を図った。

区分	件数	内容
先進地事例調査	2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸市における新規就農者育成制度（ネクストファーマーズ制度）の研修体系・生産品目の調査（神戸市）</li> <li>・出荷調整作業における自動包装機等機械体系の調査（安芸高田市・北広島町）</li> </ul>

#### (イ) 野菜・花き等の栽培試験

先進事例等の調査や市場の動向等に基づき、認定農業者等や直売農家など幅広い経営体向けの野菜・花き等の栽培試験を実施した。

区分	内容
優良品種の選定等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピーマンの一本仕立て栽培による収量・品質等の調査</li> <li>・キュウリの半促成栽培による収量・品質等の調査</li> <li>・スイートコーンのハウス栽培による収量・品質等の調査</li> </ul>
栽培展示	・トマト、キュウリ、コギク等 48品目
実証展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境測定に基づいた薬物野菜生産</li> <li>・薬物野菜における生産工程管理（JGAP）</li> </ul>

(ウ) 土壌診断

農家ほ場等の定期的な土壌診断を実施し、農作物の生育障害の防止や資材費等のコスト低減を促進した。

区分	件数	内容
農家ほ場	1,234件	CEC、塩基飽和度など14項目の認定農業者等向け診断 pH、ECなど12項目の一般農家向け診断
センター試験ほ場	198件	試験研究用の14項目分析

(エ) 優良種苗の生産供給

生長点培養等の園芸バイオ技術を活用し、個性的な野菜や地域特産品種等の優良種苗を市内農家へ生産供給した。

品目	数量
サツマイモ	1,440本
スイゼンジナ	160本
ウルイ	20本
水フキ	40本
計	1,660本

(オ) 農業振興センターの維持管理

施設の機能を良好に保つため、施設内の清掃や警備、設備等の保守・点検等を実施した。

イ 担い手の育成・支援 <決算額：19,383千円>

(ア) 新たな担い手の育成 <決算額：12,729千円>

農業従事者の減少と高齢化が進行する中、地域農業を支える担い手を確保し、市民へ新鮮で安心な農産物を安定的に供給するため、新規就農希望者等を対象とした担い手育成研修の開催や就農後の営農支援、6次産業化による所得の向上に取り組み、新たな担い手を育成した。

a 担い手育成研修

広島広域都市圏の連携市町や県、JA等と連携して栽培技術や農業経営等に関する研修等を開催するとともに、就農後の営農を支援し、他産業並みの所得が確保できる“ひろしま活力農業”経営者や直売所などへの販売農家を目指す新規就農者など、多様な担い手を育成した。

【育成研修】

区分	育成人数	研修内容	就農地
“ひろしま活力農業”経営者	23期生 4人	就農予定地での農業経営の実地研修(8カ月)	広島市 3人、安芸太田町 1人
	24期生 4人	栽培技術や農業経営に関する基礎研修(239日)	広島市 3人(予定)、安芸太田町 1人(予定)
「スローライフで夢づくり」新規就農者	17期生 3人	栽培技術や出荷方法等に関する研修(128日)	広島市 1人、廿日市市 1人

ふるさと帰農者	16期生 6人	栽培技術や出荷方法等に関する研修(94日)	広島市 6人
“チャレンジ女性” 農業者	12期生 7人	栽培技術や農産物加工等に関する研修(94日)	広島市 7人

【就農後の営農支援】

区分	対象者数	支援内容
“ひろしま活力農業” 経営者	1～23期生 42人	経営品目拡充に向けたスイートコーンの種子提供 4人 果菜類等の栽培技術の指導・情報提供 15人
「スローライフで夢づくり」 新規就農者	1～16期生 103人	営農支援講習会の開催 6回 延べ91人参加
ふるさと帰農者	1～15期生 172人	
“チャレンジ女性” 農業者	1～11期生 51人	

【令和4年度研修生募集】

区分	選考人数	就農予定地
“ひろしま活力農業” 経営者	25期生 1人	広島市 1人
「スローライフで夢づくり」 新規就農者	18期生 6人	広島市 6人
ふるさと帰農者	17期生 10人	広島市 7人、廿日市市 1人、安芸高田市 2人
“チャレンジ女性” 農業者	13期生 2人	広島市 1人、安芸高田市 1人

b 農地利用集積円滑化

農地貸借の権能を持つ旧農地利用集積円滑化団体として中間保有中の農地について、農地中間管理事業へ移行するまでの間、引き続き担い手への利用集積を実施した。

区分	集積人数	集積面積
“ひろしま活力農業” 経営者	1～21期生 17人	143,968㎡
「スローライフで夢づくり」 新規就農者	4～14期生 31人	45,672㎡

c 6次産業化の促進

生産者グループを対象とした農産物加工や新商品開発等に関する専門講師の派遣により、担い手の生産意欲を高め所得向上を図った。



区分	件数	内容
専門講師の派遣	3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブドウの加工商品の開発検討（安佐北区白木町）</li> <li>・イチゴの加工商品の開発検討（安佐北区白木町）</li> <li>・ニンジンを使ったレシピの試作（安芸町農事研究会）</li> </ul>

(イ) 畜産振興 <決算額：6,566千円>

市民へ市内産畜産物を安定的に供給するため、市内における畜産業の産地育成を推進するとともに、家畜の疾病予防や改良・増殖、畜産物の品質向上に取り組む、畜産農家の経営の安定化を支援した。

a 産地育成

佐伯区湯来町における酪農産地の維持発展に向け、生産性の向上やブランド力の強化に関する取組を支援した。

また、新たな和牛産地の形成を図るため、畜産関係団体等と連携した市内産和牛のブランド化・農家の組織化等の支援を実施した。

区分	件数	内容
研修会の開催	3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲノミック評価による繁殖牛の改良について</li> <li>・子牛の下痢対策について</li> <li>・肥育牛の飼養管理について</li> </ul>

b 家畜診療等

飼養技術に関する巡回指導と疾病の発生予防と早期発見、治療等の家畜診療等を実施し、家畜の損耗防止と畜産物の品質向上を図った。

区分	対象	内容
家畜診療等	畜産農家 22経営体	巡回指導 畜舎の衛生保持等の飼養環境の改善、適切な飼料給与、排せつ物の適正処理、畜産物の増産・品質向上に関する技術指導 739件
		家畜診療等 疾病の発生予防と早期発見、治療 497件 無血去勢・除角 43件

c 家畜の改良・増殖

人工授精及び受精卵移植による家畜の改良・増殖を計画的に実施し、畜産物の品質の向上と生産コストの低減を図った。あわせて乳牛での牛子牛増殖を推進し、高付加価値型酪農による収益性の向上を図った。

【人工授精】

区分	件数
人工授精	146件

【体内受精卵採取】

区分	件数	採卵個数	
		正常卵数	正常卵数
体内受精卵採取	7件	38個	5個

【体外受精卵作成】

区分	件数	作成卵数
体外受精卵作成	10件	82個

【受精卵移植】

	件数(A)	受胎確認 件数(B)	受胎確認中 件数(C)	受胎率 B/(A-C)
乳牛に移植	17件	9件	2件	60.0%
和牛に移植	12件	4件	0件	33.3%
計	29件	13件	2件	48.1%

(ウ) 広島市農業経営改善支援センターの運営 <決算額：88千円>

認定農業者等の農業経営の安定化を図るため、広島市農業経営改善支援センターを設置し運営した。

a 経営改善に関する支援

農業経営改善計画等の計画策定の支援や経営改善に関する情報発信により認定農業者等の経営改善を支援した。

区分	対象	内容
計画策定支援	認定農業者 108経営体	農業経営改善計画 15件（新規取得 2件、再認定12件、 変更 1件）
	認定新規就農者 20経営体	青年等就農計画 4件（新規取得）
情報発信	認定農業者等 128経営体	先進的な栽培技術等の情報発信 2件 ・果菜類の栽培試験に関する状況報告等 ・全国農業担い手サミット開催案内の通知等

※認定農業者等の経営体数は令和4年3月末現在

b 広島市認定農業者協議会の運営支援

広島市認定農業者協議会の運営を支援し、認定農業者等の所得の向上と連携強化を図った。

総会の開催 1回（書面開催）

ウ 農業への理解の促進 <決算額：51,209千円>

(ア) “ひろしまそだち”地産地消推進 <決算額：4,764千円>

市内で収穫される代表的な葉物野菜である「広島近郊6大葉物野菜（こまつな、サラダみずな、しゅんぎく、ほうれんそう、パセリ、青ねぎ）」を始めとする農産物や畜産物など、「市内産、新鮮、安心」な“ひろしまそだち”製品の消費拡大を図るため、イベント等でのPR活動や各種体験会の開催等を通じて“ひろしまそだち”の魅力と地産地消の重要性に関する市民の理解を促進し、“ひろしまそだち”製品の地産地消を推進した。

a “ひろしまそだち”のPR

イベント等でのPR活動や各種媒体を活用した情報発信により、“ひろしまそだち”に関する市民の認知度を向上させた。

区分	内容
イベント等でのPR	ひろしまフードフェスティバル（WEB開催）での产品介绍 市内産和牛肉を使用した弁当販売
情報発信	情報誌“ひろしまそだち”だよりの発行 1回 SNSやホームページでのレシピ動画等の配信など 20回

b 体験会等の開催

市民が食の大切さや農業・農村の重要性を考える機会とするため、手軽に野菜づくりが経験できる体験会を開催した。

区分	内容
エダマメの食農体験	エダマメの収穫、調理体験 1回 13人参加
ジャガイモの食農体験	ジャガイモの収穫、調理体験 1回 14人参加

c ボランティアの育成・活動支援

“ひろしまそだち”に関する市民の理解を効果的に促進するため、PR活動等に携わるボランティアを育成し、その活動を支援した。

【育成研修】

区分	受講人数	研修内容
食農コーディネーター	10期生 2人	2年目研修（全2年間） 食農指導等の実習、市場視察など 9回

【活動支援】

区分	対象者数	支援内容
食農コーディネーター	1～9期生 47人	PR活動で使用する野菜の提供 1件
“ひろしまそだち”野菜アドバイザー	1～10期生 71人	フォローアップ研修の開催 1回 7人参加

※食農コーディネーターとは、市民を対象とした食農体験等の企画・運営に携わるボランティア、“ひろしまそだち”野菜アドバイザーとは、料理教室やイベントなどで“ひろしまそだち”製品の普及啓発に携わるボランティア

d 「“ひろしまそだち”地産地消協力店」の活動支援

“ひろしまそだち”製品を取り扱う小売店・飲食店等を「“ひろしまそだち”地産地消協力店」として登録し、これら店舗が行う“ひろしまそだち”のPR活動を支援した。

区分	件数
パネルやグッズの貸し出し	4件
PR活動で使用する野菜の提供	1件

e 「ひろしま朝市」の開催支援

市民と生産者が交流する貴重な場である「ひろしま朝市」の魅力を向上するため、ひろしま朝市実行委員会の企画・運営を支援した。

ひろしま朝市の開催状況

開催回数	延べ出店数	販売額
22回	263店	6,295千円

f “ひろしまそだち”地産地消推進協議会の運営

生産者、流通業者、消費者及び行政機関等の関係団体で構成する“ひろしまそだち”地産地消推進協議会の運営を行い、“ひろしまそだち”の地産地消を効果的に推進した。

会議の開催 1回 22人参加

(イ) 農業体験の促進 <決算額：46,445千円>

農業への市民の理解を促進するため、自然にふれあいながら各種体験ができる場を市民に提供した。

① 花みどり公園 <決算額：25,976千円>

自然にふれあいながら花木や草花、園芸に関する市民の知識を深めるため、四季を通じて花木等の栽培展示や、花づくり等の各種講座を開催するとともに、花木等に関心の高い市民をボランティアとして育成し、魅力的な公園運営を推進した。

【花木や草花の栽培展示】

約170品種、5,500本のシャクナゲなど

【イベント等の開催】

区分	内容
春のシャクナゲ ふれあい祭り	シャクナゲの展示、ボランティアによる公園案内（4月10日～4月30日）
はなづくり講座	季節の草花の寄せ植えなど 9回 延べ130人参加
みどりづくり講座	庭木や果樹の剪定や手入れ 4回 延べ56人参加
シャクナゲ講座	シャクナゲ栽培の基礎 2回 延べ20人参加
体験教室	果樹の収穫とジャムづくり体験、ハンドメイド体験 3回 延べ66人参加

【市民ボランティアの育成】

花みどり公園内の施設の維持管理及びイベントや講習会等の企画運営等をサポートするボランティア(ファンクラブ)を育成した。

登録者数 21人（令和4年3月末現在）

活動内容 植替え・除草や剪定などの園内管理など 延べ300人参加

② ひろしま市民の里@安佐 <決算額：5,217千円>

「食」と「農」や自然環境保全の大切さに関する市民の理解を促進するため、自然にふれあいながら交流することができる野菜づくりや里山づくりなどの農林業体験等を実施した。

【ひろしま市民の里@安佐運営協議会の開催】

会議の開催 1回 14人参加

【農林業体験等の開催】

区分	内容
里山林の手入れ体験	森の学校@安佐（竹林の整備など）1回 39人参加
自然観察会	動植物の観察など 2回 延べ53人参加
その他体験事業	ハーブ講習会や野菜作り体験講座など 6回 延べ142人参加

【施設整備】

区分	内容
景観等整備	シンボルツリー（シダレザクラ）の植栽 1本
休憩施設整備	東屋の設置 1棟
遊歩道の整備	雨水排水処理及び路面の改善

③ 広島市市民農園 <決算額：12,477千円>

市民の農業及び農村に関する理解を促進するとともに、健康的でゆとりある市民生活の確保を図り、あわせて農村地域の振興に資するため、手軽に農作物の栽培体験ができる農園を管理運営するとともに、都市農村交流会等のイベントを開催した。

【管理運営】

区分	内容
入退園事務	利用者募集、使用許可、利用料金の徴収など
地元管理組織の支援	運営委員会の開催支援 1回

【都市農村交流会等の開催】

区分	内容
見張市民農園	ケチャップ作りやジャム作り、栽培講習会など 6回 延べ98人参加
三田市民農園	干し柿作りや収穫祭、栽培講習会など 6回 延べ146人参加
三国市民農園	収穫祭と栽培講習会 3回 延べ36人参加

広島市市民農園の利用状況 (令和4年3月末現在)

区分	貸付区画数	入園区画数	入園率
見張市民農園	178区画	72区画	40.4%
三田市民農園	112区画	81区画	72.3%
三国市民農園	137区画	94区画	68.6%
計	427区画	247区画	57.8%

※入園区画数には食農区画の利用を含む。

④ 広島市市民菜園及び広島市市民体験農園 <決算額：2,775千円>

農業への市民参加を促進するため、農家が遊休農地等を活用して開設した菜園等の管理運営を行うとともに、菜園利用者等を対象とした栽培講習会を開催した。

【管理運営】

区分	内容
入退園事務	利用者募集、貸付契約事務の補助など
施設の維持管理	空き区画の保安全管理、簡易な設備の修繕など(市民菜園に限る)

【栽培講習会の開催】

区分	内容
栽培講習会	春夏野菜の栽培管理に関する講習会 4回 延べ118人参加

広島市市民菜園及び広島市市民体験農園の利用状況

(令和4年3月末現在)

区分	貸付区画数	入園区画数	入園率
市民菜園	2,136区画	1,924区画	90.1%
市民体験農園	110区画	105区画	95.5%

※市民体験農園には区画の貸付以外に野菜づくりの共同体験を実施  
利用状況：75組の募集に対し65組利用（利用率86.7%）

(2) 林業の振興（公益目的事業2） <決算額：48,657,024円>

ア 森林の保全・整備 <決算額：44,371千円>

森林整備の推進

森林の持つ水源のかん養や土砂災害の防止、二酸化炭素の吸収などの公益的機能を将来にわたって維持・増進するため、広島市市有林等の適正な森林整備等を推進し、健全な森林を育成した。

(ア) 市有林等の整備

広島市市有林及び広島市分収林について、「広島市森林施業計画」に基づき計画的な森林整備を実施した。

区分	整備内容
広島市市有林	利用間伐 6.51ha、作業道開設 1,600m、境界データの電子化 1地区
広島市分収林	間伐、枝打ち、除伐 39.45ha、境界データの電子化 1地区

(イ) 太田川源流の森整備

広島市水道局が所有する廿日市市吉和の太田川源流の森について、「太田川源流の森整備基本プラン」に基づき計画的な森林整備等を実施した。

区分	整備内容
太田川源流の森	森林整備：下刈 0.08ha、管理歩道等の維持補修 森林整備活動場所の整備：歩道刈払 1.78ha、下刈 0.90ha

(ウ) 適正な森林管理の促進

森林所有者自らが管理できない森林について、「広島市の森林経営管理推進事業の実施方針」に基づき意欲と能力のある林業経営者による適切な林業経営に誘導するため、森林の所有者や森林境界等に関する調査を実施した。

調査地区	調査面積	調査内容
佐伯区湯来町	220ha	所有者調査

イ 担い手の育成・支援 <決算額：4,098千円>

新たな担い手の育成

市民による適切な森林管理を促進するため、施業技術に関する研修等を開催し、森林管理に携わる人材を育成した。

(ア) 半林半X移住者支援

中山間地域への移住者を、自ら森林を育て、管理し、林業経営を行う自伐林家として育成するため、森林・林業についての知識や技術習得等に関する林業研修を開催した。

区分	受講人数	研修内容	備考
半林半X移住者	2期生	2年目研修(全3年間)	安佐南区沼田町
	1人	林業基礎研修(3カ月)、上級研修(9カ月)	戸山地区に移住

(イ) 自伐林業担い手支援

森林所有者や地域住民等が自ら行う森林管理を促進するため、安全な間伐作業や未利用材の搬出作業等の技術講習会を開催した。

区分	内容
間伐安全講習会	安全な間伐作業の実習(3日) 1回 6人受講
作業道開設講習会	作業道の効率的な配置計画と作業実習(3日) 1回 3人受講
木材搬出講習会	ロープウインチを活用した搬出作業の実習 4回 19人受講
チェーンソー特別講習	チェーンソーによる伐木等の法定特別講習(2日) 1回 19人受講
刈払機講習	刈払機の安全講習 2回 22人受講

ウ 林業への理解の促進 <決算額：188千円>

市民参加の森林づくりの推進

森林・林業に関する市民の理解を促進するため、森林づくりに関する指導者の育成と市民参加の森林づくり事業を市や森林組合等と連携して推進した。

(ア) 里山整備士養成

市民ボランティアや地域住民等による健全な里山再生活動を促進するため、指導者となる広島市里山整備士の活動を支援した。

区分	対象者数	支援内容
広島市里山整備士	1～11期生 38人	里山整備士活動の広報用チラシの作成・配布 公民館や関係機関など86施設 555部 森林整備活動団体等(5団体)とのマッチング 11回 延べ29人派遣 フォローアップ研修の開催 4回 広島市里山整備士会総会の開催 1回

(イ) 市民参加の森林づくり事業

市民が森林づくり活動に自発的に参加する動機付けと気軽に参加できる緑とのふれあいの場を通じて、森林・林業に関する市民の理解を促進するため、市民参加の森林づくり実行委員会が行うボランティアの育成等の取組の企画・運営を支援した。

【育成講座】

区分	受講生	内容
もりメイト	26期生 30人	間伐や植林の実習など 8回

※「もりメイト」とは、市民による森林づくり活動での先導的役割を果たすボランティア

【その他の取組】

区分	内容
女性のための森林づくり入門体験講座の開催	森の健康診断や木の伐採、自然観察など 2回 11人受講
森林整備活動用具の貸出し	森林整備活動を行う7団体への用具の貸出し 11回
ひろしま「森の市」の開催	広島市森林公園での森林ボランティア団体の活動紹介や林業体験、木製品・森の産物の展示販売など 開催日・場所 11月3日 広島市森林公園(入園者数2,287人) 参加団体 8団体
市民参加の森林づくり実行委員会の運営	総会の開催 1回

(3) 水産業の振興（公益目的事業3） <決算額：57,228,496円>

ア 調査及び試験研究 <決算額：7,548千円>

(7) 増殖・養殖に関する調査 <決算額：2,131千円>

養殖等に関する指導に必要な情報を把握するため、カキ稚貝の付着状況、ノリ・ワカメの生育状況、アサリ稚貝の分布状況等の調査を実施した。

a カキ養殖に関する調査



区分	調査期間	地点数等	調査回数	内容
カキ採苗調査	5月～8月	17地点	幼生調査 48回 種見調査 57回	カキ幼生の分布状況やカキ稚貝の付着状況の調査、採苗不調の原因究明のための調査・研究（国や広島県、漁業団体、広島市と共同実施）
害敵生物調査	ムサシガイ 4月～6月、 1月～3月	11地点	幼生調査 41回 付着調査 34回	カキの成育不良の原因となる害敵生物の付着状況等の調査
	アカゾウナ、 カサシヨカイ類等	7地点	付着調査 16回	
出荷サイズ調査	4月～5月、 10月～3月	9経営体	72件	カキの成育状況、出荷動向等を把握するための調査
海底耕うんの効果検証に関する調査	5月～6月	2地点	5回	カキ幼生の餌となる微細な植物プランクトンの増加等を目的に、漁業団体が実施する海底耕うんの効果検証に関する調査（広島大学と共同実施）
食害防止に関する調査	9月～12月	弁天島 地先	13回	近年被害が深刻化している魚類によるカキの食害について、効果的かつ実用的な防止方法を検討するための調査（漁業団体と共同実施）

b ノリ・ワカメ養殖に関する調査

区分	時期	地点数	調査回数	内容
ノリ	11月～2月	1地点	4回	養殖海域の環境調査、生育及び食害状況等の調査
ワカメ		4地点		

c アサリ漁業に関する調査

漁獲量が減少しているアサリ資源を増殖するため、天然種苗の活用等を検討するための調査を実施した。

区分	地点数	調査回数	内容
稚貝分布状況等調査	4地点	4回	天然種苗を確保するための稚貝の分布状況等の調査 〔五日市の岡の下川河口干潟において、殻長数mmの稚貝が多数発生していることを確認した。〕
種苗別生残状況調査	1地点	4回	天然種苗と他県産の種苗の生残状況を比較するための調査
被覆網設置調査	1地点	6回	魚類による食害から種苗を保護する被覆網の設置方法を検討するための調査

(イ) 漁場環境に関する調査 <決算額：1,735千円>

カキ等の成育に影響を及ぼす漁場環境を把握するため、広島湾における水質等の調査を実施した。

広島湾漁場環境調査

区分	地点数	調査回数	内容
水質調査	8地点	112回	広島湾北部海域及び大黒神島海域における水温やカキ幼生の餌となる微細な植物プランクトン等の調査
底質調査	3地点	2回	広島湾北部海域における底質の全硫化物量等の調査（時期：8月、2月）
有害プランクトン調査等	3地点	23回	魚介類のへい死や二枚貝の毒化を引き起こす恐れがある有害プランクトンの調査、貝毒等検査の検体の採取
藻場調査	—	1回	稚仔魚が成育する場である藻場の広島湾北部海域における分布状況を把握するための調査

(ウ) 水産資源に関する調査及び試験研究 <決算額：3,682千円>

海面及び内水面の資源増殖に関する指導の基礎資料とするため、放流魚等の漁獲実態を把握する調査や、新たな資源増殖に関する調査及び試験研究を実施した。

a 漁獲実態等調査

区分	調査回数	内容
漁獲実態調査	20回	漁業者への漁獲魚種や漁獲量、市場への出荷状況等の聴き取り調査（対象：5経営体）
種苗放流効果調査		

b 資源増殖に関する調査及び試験研究

区分		調査回数	内容
ナマコ資源増殖試験		5回	漁獲量が減少しているナマコ資源の増殖を図るために行う種苗の生産・放流、放流効果の検証に関する調査 〔カキ殻を敷設した場所に、カキ殻に付着させた種苗（全長約4mm）を放流した結果、放流から4カ月後に全長約30mmまで成長し、生残状況も良好であることを確認した。〕
アユ資源増殖に関する調査		2回	太田川再生方針に基づくアユ資源を増やす取組の効果検証のために行う、高瀬堰下流域におけるアユの産卵数や産卵環境の調査等 〔11月に高瀬堰下流域等で産卵場調査を行った結果、漁業団体が産卵場造成を行った大槇の瀬において、まとまったアユの産着卵を確認した。〕
カワウ対策に関する調査等		3回	魚類の食害が深刻化しているカワウ対策として行う胃内容物の調査やねぐらへのテープ張り
シジミ資源増殖に関する調査・研究	資源状況等調査	2回	シジミの資源状況、水温及び塩分濃度の調査 (時期：5月、10月、地点数：19地点)
	生残状況調査	3回	太田川再生方針に基づくシジミ資源を増やす取組の効果検証のために行う、母貝として保護している種苗等の生残状況等の調査（漁業団体と共同実施） 〔岩場へ放流した種苗の生残状況を調査した結果、大雨による出水後においても流失が少なく、生残状況は良好であることを確認した。このため、岩場は出水の影響や魚類による食害を受けにくい場所であり、放流場所として適していると考えられた。〕

イ 担い手の育成・支援 <決算額：48,900千円>

(ア) 漁業技術の普及指導等 <決算額：1,892千円>

生産量の増加や品質の向上等により、漁業収入の安定化を図るとともに、市民へ新鮮な魚介類を安定的に供給するため、漁業者に対し、技術指導や販売支援を実施した。

a カキ等養殖に関する指導

カキ採苗調査や広島湾漁場環境調査等の結果を取りまとめ、広島市内の漁業団体をはじめ、関係者へ情報提供するとともに、各種調査結果を基に養殖指導や研修会を実施した。

カキの採苗については、カキ稚貝が7月下旬から付着し始め、大黒神島海域では8月上旬まで、広島湾内では8月下旬まで採苗可能な状況が続き、市内のカキ養殖業者は必要な種苗を確保した。

区分	内容
養殖指導	カキ養殖指導 1,642件
研修会の開催	カキ養殖研修会 2回 延べ33人参加

b その他漁業に関する指導

広島湾漁場環境調査の結果を取りまとめ、広島市内の漁業団体へ情報提供するとともに、各種調査及び試験研究の結果を基に技術指導を実施した。

アサリ漁業については、稚貝分布状況等調査結果を基に4～5月に魚類による食害を防止するために被覆網を設置したところ、市内の漁業者は3月には殻長30mmを超える多くのアサリを収獲した。

区分	内容
養殖指導	魚介類増養殖指導 1,564件
研修会の開催	アサリ研修会 1回 8人参加

c 販売支援

漁業収入の安定化や地産地消の推進を図るため、漁業者が実施するひろしま朝市等での販売を支援した。

(イ) つくり育てる漁業の推進 <決算額：47,008千円>

海面及び内水面における水産資源を維持増大することにより、漁業収入の安定化を図るとともに、市民へ新鮮な魚介類を安定的に供給するため、種苗生産等を実施した。

a 種苗生産

次のとおり種苗を生産し、広島市に引き渡した。

種類	計画数量	生産結果	大きさ等
アユ	70万尾	89.7万尾	0.5g以上
マコガレイ	10万尾	16.0万尾 <sup>※1</sup>	30mm以上
アイナメ	1万尾	3.3万尾 <sup>※2</sup>	60mm以上
ガザミ	20万尾	28.5万尾	稚ガニ3令以上
モクズガニ	40万尾	53.3万尾	稚ガニ1令以上
ワカメ	8,000m(種糸)	8,600m(種糸)	幼芽3mm以上

※1 令和2年度に生産を開始し、3年度に広島市に引き渡した種苗。3年度に生産を開始した種苗については、4年4月に15.3万尾、広島市に引き渡し予定。

※2 2.0万尾については、令和2年度に生産を開始し、3年度に広島市に引き渡した種苗。3年度に生産を開始した種苗については、4年3月に1.3万尾、広島市に引き渡し、4年4月に1.2万尾、広島市に引き渡し予定。

- b フリー配偶体によるワカメ種苗生産技術開発試験  
品種改良が容易で、かつ種苗生産の省力化等が可能なフリー配偶体の技術を用いて種苗生産試験や養殖試験を実施した。
- c 種苗放流指導  
漁業関係者を対象に、種苗放流、資源管理、栽培漁業技術等の指導や研修会を実施した。

区分	内容
種苗放流指導	種苗放流指導 45回 延べ129人参加
研修会の開催	ナマコ研修会 1回 14人参加

- d 水産振興センターの維持管理  
施設の機能を良好に保つため、施設内の清掃や警備、設備等の保守・点検等を実施した。

## ウ 水産業への理解の促進 <決算額：780千円>

### 学習会の開催等

市民の水産業への理解の促進を図るため、関係団体の協力を得ながら、学習会等を実施した。

#### (ア) 体験学習会

区分	内容
海辺の教室	水産業や生物に関する体験学習会 6回 延べ89組213人参加 テーマ：カキ養殖、プランクトンの観察、刺網から魚をはずす体験、チリメンモンスター、かまぼこ作り、魚のおろし方
海と漁業の体験スクール	干潟の生物観察及び種苗の放流体験 3回 延べ237人参加

#### (イ) 水産関係イベント

漁業団体が開催した井口ワカメオーナー制度等の水産関係イベントに協力し、市民の「広島市の漁業」や「つくり育てる漁業」への理解の促進や魚食普及を図った。

#### (ウ) 水産業に関する情報の提供

区分	内容
施設の一般公開	資料展示室の一般公開、カキ養殖など広島市の水産業の説明、種苗生産施設の案内等 来館者数 3,870人、団体数 74団体
情報の提供	ホームページや動画共有サイト等を活用した水産業に関する情報の提供、ワカメの学習会への講師の派遣 ホームページアクセス件数 12,680件、水産知識に係る情報提供 40件、講師派遣 1回 61人受講

(4) 収益事業 <決算額：225,251円>

自動販売機設置事業

施設利用者の利便性の向上を図るため、飲料水自動販売機を設置した。

設置場所	台数
農業振興センター	1台
花みどり公園	2台
見張市民農園	1台
三田市民農園	1台
水産振興センター	1台

7 無償使用貸借資産

事業を実施するにあたって、広島市から無償使用貸借している資産は次のとおりである。

(1) 建物及び土地(令和4年3月31日現在)

名称	所在地	区分	現在高
広島市農業振興センター	広島市安佐北区深川八丁目30番12号	建物	事務室等 545.04㎡
ひろしま市民の里@安佐	広島市安佐北区安佐町久地及び毛木地区	土地	—

(2) 物品(令和4年3月31日現在)

区分		現在高
車両	乗用車	3点
	貨物車	1点
組立式物置		1点
合計		5点

8 附属明細書

記載すべき事項はない。